

市や議会に対する

市民皆さまの思いを紹介



大野の未来

私たちは、国語の授業で「町の幸福論」という学習をしました。地域住民が主体的に町作りに取り組み、豊かな大野町にするために、※バックキャスト法を使って、未来の大野町をイメージしてみました。

一つ目は大野駅ビル構想です。大野駅ビルができることによって二つのメリットがあります。一つは交通の便がよくなり、大分などに行きやすくなります。もう一つは、大野町で行っている活動がさらに充実できることです。大野町の人たちの交流が深まり、さらには大野町以外の人たちとの交流もふえていけると思います。

二つ目は沈墮橋です。沈墮橋ができることで、人がより多く集まって来ると思うからです。それにワークショップやイベントなどをしたら、もっと有名になると思います。

この二つの活動によって、地域住民が主体となる場を持ち、豊かな町の幸福を生み出せるようにがんばります。

※バックキャスト法・・・ありたい姿・あるべき姿を想定し、その実現のために、今なすべきことを考えること



大野小学校6年

なが やす そう
永 易 颯

豊肥の雄 三重中学校



三重中学校2年

いとう ゆう
衛 藤 結 生

三重中学校は、全校生徒421人という多人数で生徒会活動に取り組んでいます。全校生徒一人ひとりが、過ごしやすい学校にしようとがんばっています。

今年の生徒会テーマは、「絆礼^{ほんれい}～認め合い・支え合い・高め合える学校～」です。「絆礼^{ほんれい}」という言葉は、前期のテーマを引き継ぎ絆や互いを尊重しあえる学校という意味がこめられています。そこに「認め合い・支え合い・高め合える学校」を付け加え、豊肥の雄にふさわしい学校を目指していくというテーマになっています。

今の三重中学校には、改善していかないといけないところがたくさんあります。そこを、今までの活動を見直しながら、新しい活動を取り入れ、全校生徒で努力をしているところです。各専門部が工夫をこらし、活動を行っています。

僕たちは、このような活動を通して一人ひとりのことを思いやり、助け合える学校を目指してがんばっていきます。

議会を傍聴してみませんか？

次回3月定例会は、2月25日に開会予定です。

手続きは、受付で住所と名前を書くだけです。
お気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL 0974-22-1001
市内無料電話 9-22-1001

広報編集特別委員会
委員長 神志那文寛
副委員長 衛藤正宏
委員 小野泰秀
委員 川野優治
委員 内田俊和
委員 赤峰映洋